

会 議 録

1 会議の名称

令和6年度 第5回 妙高市地域公共交通協議会

2 開催日時

令和6年10月23日（水） 13時15分～14時20分

3 開催場所

新井ふれあい会館2階 会議室A・B

4 出席者（敬称略、順不同）

委 員：城戸陽二、佐野可寸志、山本 毅、桐木 勉、宮下富男、池田 茂
池田 弘、市川秀直、幸村信太郎、岡田春彦、林克恒、塩原隆太郎
藤山育郎、池田雄一、丸山敏行

事務局：岡田課長、作林係長、市川主査

オブザーバー：頸南バス1名（説明者）、エヌシーイー2名（受託業者）

5 議題

（1）協議事項

議案第1号 「妙高市地域公共交通計画（令和7年度～令和11年度）」（案）
について

（2）報告事項

報告第1号 頸城自動車(株)及びグループ会社の来春の運賃改定について

6 内容

○開会

（事務局） 本日の委員の皆様の出席状況をご報告させていただきます。委員合計20名のうち、出席が15名、欠席が5名で、協議会規約第8条第2項に規定する過半数の出席がございますので、会議が成立していることをご報告申し上げます。

はじめに、本協議会の会長であります、城戸市長がご挨拶申し上げます。

○会長あいさつ

（会 長） 本日はご多用の中、皆様からご出席いただきまして、誠にありがとうございます。現在、県知事は私を含めた県内市町村長との意見交換をしておりますが、その中で、各地域の中で課題として出されているのは、大きく5つ挙げられていました。1つ目は少子高齢化による地域医療の問題、2つ目が産業、3つ目

が観光、4つ目が教育そして最後は地域交通でした。この5つは県内各自治体が抱えている共通の課題であることから、これらを各市町村が連携しながら、協議させていただいている状況であります。

妙高市にとりまして、免許返納制度があるにしても高齢運転しなければならない状況の中で、地域公共交通を今後どのようにしていくかというのは大きな課題であるという認識であります。

2年前からA I デマンド乗合タクシーを運行させていただいておりますが、先日「市長への手紙」を高齢者のかたからいただき「大変便利な制度でありがとうございます」といった趣旨の内容でございました。しかしながら、新しい様々な制度について検討していかなければ、中山間地域を抱える当市において、持続可能な地域公共交通を実現させることは難しいと思っています。

本日皆様から協議いただきますのは、今後の地域公共交通計画についてとなります。当協議会として計画策定の業務委託をしております、エヌシーイー様からもご出席いただきました。この後、説明をしていただく中で、皆様からご意見を頂きながら、地域公共交通計画を作り上げて参りたいと思いますので、ぜひともご理解とご協力をお願いいたします。

簡単ではございますが、開会にあたっての挨拶とさせていただきます。

○議題

(事務局) それではこれより協議に入らせていただきます。議事の進行につきましては、規約第8条第1項の規定に基づき、城戸会長の方からお願いいたします。

(議長) 議事の進行にあたり議長を務めさせていただきます。事務局からの説明後、皆様から、ご忌憚のないご意見を賜りたいと思っております。なお、会議録システムを使用いたしますので、質問がある場合は挙手をいただき、事務局よりマイクをまわしますので、そちらを使つての発言をお願いしたいと思っております。それでは、議案の審議に入らせていただきます。

議案第1号「妙高市地域公共交通計画（令和7年度～令和11年度）」（案）について、事務局の説明を求めます。

(事務局) 【議案第1号を説明】

(議長) それでは、ただいまの議案第1号の説明について、ご意見やご質問がありましたら、お願いします。

(委員) 4章の観光客アンケート調査の項目があるのですが、現状の「チョイソコみようこう」の運行では事前の登録必要が条件になっていると思います。妙高市在住または市内に居所のあるかたが対象なので観光客は当てはまらないと思います。さらに今後、「チョイソコみようこう」の要件が拡大されると、現在新井地区限定の運行をしていますが、ビジネス客等も含めてタクシー利用者が全て「チョイソコみようこう」利用に移行されてしまうと、タクシー業者が廃業になってしまうのではないのでしょうか。そこら辺、どういうにお考えでいらっ

しゃるのか、お聞きしたいと思います。

(エヌシーイー) 大変失礼いたしました。観光客アンケートの表が間違っておりまして、観光客アンケートの方に「チョイソコみようこう」の設問は入れておりません。観光客の方は利用できないというのは存じ上げておりまして、妙高市さんのほうとも、「チョイソコみようこう」の拡大という考えは現時点ではないという協議をさせていただいており、そこの設問は、設定していなかったのですが、私が公共交通利用者のアンケートと同じものを間違えてしまっておりました。

(委員) ありがとうございます。それで納得しました。もう1点そのアンケートの中で、運行事業者として他の事業者さんも気になっているかと思いますが、業界全体の運転手不足の中で、非常に苦勞をしてなんとか運行をしている現状です。

今回のアンケートでバスの運行時間を拡大するという趣旨の設問があるのですが、民意として拡大してほしいと言われても、実際に運行事業者が対応することは働き方の問題や運転手の拘束時間の問題もあり困難かと思います。

一方的に運行だけを考えれば運転手不足となって、どうやって回していくかということは課題になってきます。拡大という表現ではないほうがいいと思うのですが、いかがですか。

(事務局) 今のお話はもっともでございまして、運転手不足は当市だけではなく、全県・全国的な課題になっております。効率性と利便性を含めていく上で、一概に拡大ということを前提にしているわけではございません。

アンケート結果等を通じて、ある部分はもう少し安く、もう少し効率的にできないか、別の方法を考えられないか等、柔軟性を持って検討していきたいと思っております。

皆様の現状を私どもはある程度は把握させていただきましたので、そのあたりはじゅうぶん注意して策定作業を進めていきたいと考えております。

(委員) ありがとうございます。もう1点お尋ねいたします。「チョイソコみようこう」のアンケートに関することで、乗合率を上げる必要があると思いますがなにか改善策を考えているのでしょうか。

(事務局) 今、「チョイソコみようこう」については、月・水・金の8時半から15時まで運行しています。その中で今、乗合率が低いという話が出ています。率が向上しない理由の1つが、例えば、あるかたがA地点からB地点まで行くのに20分かかるとします。他のかたから予約が同じ時間帯にあったとしても、迂回して、乗合すると8~9分以上プラスでかかるようでしたら、他の車両に振り替えるようにAIの方で設定しています。

あくまで今運行している範囲というのが、少し広いということもあって、なかなか利用率が上がらないのかなとは考えております。具体的に今後こうしていきますという方針について、今はお示しできませんが、例えば運行エリアを少し区切った上で2台体制にするといったことは考えていくべきなのかなと思っております。

(委 員) 全体を通じての感想ですが、ニーズというのは、サービスレベルが高ければ高いほど、それは利用者にとって嬉しいということになります。ただ、それに対してコストもかかるわけですから、トレードオフ的な内容をアンケートでしっかり聞いた方がいいかなと思います。例えばですが、相乗りすると時間が長くなるわけですね。そこで 300 円で相乗りすれば 1 人あたり 150 円の運賃となるわけですから、その分運賃を少し安くするというのがトレードオフですね。

そのサービスレベルがちょっと悪くなるけど運賃下げるとか、あとプラスのほうだと、難しいのかもしれませんが乗客が希望して自宅まで行くと、その代わり 100 円とか 200 円を余分にもらうとか。

そのあたりのトレードオフをしっかり伺うと、どのような料金施策が良いとか悪いということがわかると思いますので、そのあたりの何というか、具体的にどういうことをやるのかを決めて、アンケートを実施することがより効率的だと思います。

(事務局) アンケートの内容については、調整させていただきたいと思いますし、費用対効果の面については、市としても課題があると思っておりますので、そのあたりも含めて、また検討していきたいな思っております。

(委 員) ありがとうございました。

(事務局) 後でまた気づいたことがあれば事務局に言っていただければと思いますし、なかなか本日のこの場で意見が言いづらい部分もあるかと思いますが、いつでも良いので、情報をお寄せいただければありがたいと思っております。

(議 長) 他にございませんでしょうか。

(委 員) 19 ページ中の市内公共交通の運行状況というところで、路線バス「新井板倉線」の運行主体が東頸バスとなっておりますが、同じグループ会社になりますが、こちらは頸南バスでやっておりますので、訂正をお願いします。

(事務局) 大変失礼いたしました。資料のチェックが行き届いておりませんでした。他にも誤字脱字や実際の中身とずれているところもあります。時間のない中で、今回、計画策定受託業者さんのほうからまとめていただいた経緯もありますので、次回にはしっかりとチェックや調整をした上でお示したいと思っておりますので、今日の説明内容は全体のイメージとして、お受けとめいただければと思いますのでご理解ください。

(委 員) ありがとうございました。

(議 長) 他にございませんでしょうか。特に無いようでございますので、議案第 1 号から第 1 号は原案のとおり承認することでご異議ございませんか？

【異議なしの声】

(議 長) 次に報告事項に移らせていただきます。「報告第 1 号 頸城自動車(株)及びグループ会社の来春の運賃改定について」、事務局の説明をお願いします。

(事務局) 【報告第 1 号を説明】

(議 長) それでは、ただいまの報告について、ご意見ご質問がありましたら、お願いします。

【発言なし】

(議 長) せっかくオブザーバーとして出席していただいておりますので、頸南バスさんのほうから、補足的な説明をお願いいたします。

(頸南バス) こちらの乗合バス運賃の改定ですが、今春頃から頸城自動車グループでは議論していたのですが、こちらの資料にありますとおり 16 年ぶりの改定になります。その間に消費税がアップしたことによる運賃の改定がありましたが、運賃そのものに関する値上げは、16 年ぶりということになっています。

今回の目的として路線の存続、サービス向上、営業収支の改善とありますが、とても 15%では改善するような数値ではございません。乗合運賃を 3 倍・4 倍にしても、なおかつ赤字というのが現状でございます。ただし、今回の改定に関しては県内大手の他社との歩み寄り等もあるというふうに聞いております。

まだ、親会社のほうからの具体的な指示はございませんが、特にバスを利用されているかたは、交通弱者と言われるお年寄りや障がい者のかたが多いですので、そういう皆様から負担をいただくというのは、非常に心苦しいです。できたら運賃改定ではなく、違った形で補填をいただけるようにしていかないと、この交通インフラというのは、なかなか成り立っていかないというのが実情でございます。

具体的なことはまだ正式な通知が来ていないので、ご説明には至りませんが、こういう内容がございますということで皆様からご理解・ご承知おきいただきたいと思っております。

(議 長) ありがとうございます。それでは、今後意見を集めさせていただいて、運賃等協議会にて諮らしていただくような形になろうかと思いますので引き続きご協力のほどお願いします。

以上で予定の議案と報告事項の全てを終了しました。議長を解任させていただきます。ご協力ありがとうございました。事務局の方に進行を戻します。

○その他

(事務局) 皆様のご協力により協議が全て終了しました。ありがとうございます。最後に、次第の 4 番目の「その他」になります。せっかくの機会ですので、委員の皆様から何かご発言等ありますでしょうか。無ければ、事務局のほうから情報提供させていただきます。

(事務局) 1 点目です。こちらの第 4 回の協議会書面協議の際に、こういう形でやらせていただくという報告をさせていただいた内容の結果を情報提供ということで時間をいただきます。

10 月 5 日に乗合タクシー「チョイソコみようこう」の PR ということで、新井タクシーさんとアイエムタクシーさんから半日ずつ、タクシー事業の紹介や「チ

ョイソコみようこう」の登録募集などをさせていただきました。天気も比較的に良かったり、近隣で他のイベントも開催されていた効果もあって、おかげさまで今までにない総勢 1,700 人の皆さんからご来場いただきました。

本日までご出席いただいております妙高警察署さんからも、交通安全ブースでいろいろPRしていただいたのですが、今後このようなイベントの機会等を上手く活用させていただきながら、今回はタクシーのみでしたが公共交通利用促進という趣旨ですので、バス・電車も含めて今後検討できたらと思います。今回スペースの関係で限定的な内容になってしまいましたが、また委員の皆様と意見を交わしながら進めていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

(事務局) 2 点目です。乗合タクシー岡沢ルート・稲荷山ルートの関係で情報提供させていただきます。もともと妙高市内の乗合タクシーとは「チョイソコみようこう」と言われるAI デマンド乗合タクシーというものと、それ以外に従来から乗合タクシーの岡沢ルートというものが運行されておりました。

昨年度、委員の皆様にも書面協議や協議会の場で情報提供させていただきましたが、岡沢ルート自体は上越市さんと妙高市と一緒に補助金支援を行った上でタクシー事業者さんから運行してもらっていました。しかし、乗車率が悪いということで、上越市さんの新しい地域公共交通計画の中では、令和 6 年 9 月までの乗車率が改善されない場合は、今年度末をもって地域団体による互助運行に切り替えることを検討するという計画を立てられました。

妙高市につきましては、令和 5 年 10 月に「チョイソコみようこう」の運行エリアを拡大して、岡沢ルート内の市域についても交通空白地帯にはならないような形をとっております。上越市さんと妙高市との二人三脚で運行してきましたが、前述のとおり令和 6 年 9 月までの乗車率改善が図ることができなかったのも、令和 7 年 3 月の廃止の方向で今後進めていくような形になるかと思います。

妙高市としましては、当該ルートが「チョイソコみようこう」のエリアであり、交通空白地帯の発生にはなりません、改めて協議会の議案として、廃止の方向性について、皆様から正式に議論していただく予定としています。今後の進め方につきましては、上越市さんと足並みをそろえながら、進めていきたいと思いますので、本日は現状について情報提供させていただいた次第でございます。

(事務局) 以上でその他を終了させていただきます。こちらについてもご質問等ありませんでしょうか。特にないでしょうか。大丈夫でしょうか。

(事務局) それでは長時間にわたりありがとうございました。令和 6 年度 第 5 回 妙高市地域公共交通協議会を閉会とさせていただきたいと思います。本日はお忙しい中ご審議いただきまして誠にありがとうございました。お気をつけてお帰りいただきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

○閉会